

札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

首席指揮者 / エリ阿斯・グランディ
名誉音楽監督 / 尾高 忠明
友情指揮者 / 広上 淳一
首席客演指揮者 / 下野 竜也
正指揮者 / 川瀬 賢太郎



©Y.Fuji

コンサートマスター ☆会田 莉凡
☆田島 高宏
ヴァイオリン ☆●桐原 宗生
○小林美和子
赤間 さゆら
飯村 真理
井上 澄子
岡部亜希子
河邊 俊和
熊谷 勇大
佐藤 郁子
多賀 万純
高木 優樹
竹中 遥加
龍田香菜美※
鶴野 紘之
ディバスクアーレ
ヴァンチェンツォ
土井 奏
富田麻衣子
中村菜見子
三原 豊彦
山下 暁子

ヴィオラ ☆●廣狩 亮
□鈴木 勇人
□樫本 朱音
□原 香奈恵
青木 晃一
荒木 聖子
仁木 彩子
物部 憲一

チェロ ☆●石川 祐支
○猿渡 輔
荒木 均
小野木 遼
角野 友則
武田 芽衣
廣狩 理栄
横山 桂

コントラバス ●吉田 聖也
○稲橋 賢二
飯田 啓典
大澤 敬
斎藤 正樹
下川 朗

フルート ●クリス・ウォン
○川口 晃
福島 さゆり

オーボエ ●関 美矢子
○浅原 由香
宮城 完爾

クラリネット ●三瓶 佳紀
○白子 正樹
原田 侑来

ファゴット ●坂口 聡
○夏山 朋子
村上 敦

ホルン ○土谷 瞳
岩佐 朋彦
折笠 和樹
花澤 良平

トランペット ●福田 善亮
○籠谷 春香
小林 昌平
佐藤 誠

トロンボーン ●山下 友輔
○中野耕太郎
田中 徹
澤山 雄介
チューバ 玉木 亮一

ティンパニ、
打楽器 ●入川 奨
○大家 和樹
大垣内英伸

客演奏者
ヴァイオリン 鈴木 京

ホルン 齋藤 麻衣
篠邊 千菜

打楽器 向 愛佳

(パート、役職別、五十音順)

☆特別契約団員 ●首席奏者 ○副首席奏者 □副首席奏者代行
※試用期間奏者

公式ホームページ
<https://www.sso.or.jp>



札幌交響楽団 長沼公演



2025 9月10日 (水) 13:00 開演
長沼町立長沼小学校 体育館

しき おおた げん
■指揮とおはなし 太田 弦
かんげんがく さつぽろこうきょうがくだん
■管弦楽 札幌交響楽団
■コンサートマスター あいだ りぼん
会田 莉凡



©Yasuo Fujii

[協賛] 公益財団法人 萬田記念財団



公式ホームページ
<http://koueki-manda.or.jp/>

公益財団法人 萬田記念財団は、医学を中心とする研究・教育活動の支援・
貢献、芸術分野への支援・貢献、および社会福祉への支援を行うことにより、
生命の安全を守る医療、社会福祉および情操の涵養を促す芸術の振興・
向上を目的とする公益財団法人です。
事業のひとつとして平成25年度から北海道の音楽文化の担い手である
札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。

(札幌道内公演支援実績)



[主 催] 長沼町教育委員会、公益財団法人 札幌交響楽団

●デュカス(1865～1935)作曲 「ラ・ペリ」のファンファーレ(約3分)

デュカスはフランスの作曲家で、パリ音楽院で学びました。「ラ・ペリ」は古代ペルシャの神話を題材にしたバレエで、デュカスが音楽を作りました。バレエの最初に金管楽器で演奏されるファンファーレは、壮麗で注目を一気に集める迫力があります。始まりの合図にふさわしく、演奏会だけではなく式典やスポーツイベントでもよく演奏されます。

●ビゼー(1838～1875)作曲 歌劇「カルメン」前奏曲より“闘牛士”(約3分)

ビゼーもフランスの作曲家で、デュカスと同じ音楽院で学びました。歌劇(オペラ)は歌とオーケストラの演奏によって描かれるドラマで、「カルメン」はその中でも人気があります。“前奏曲”は、物語が始まる前に演奏され、登場人物や場面を紹介するメロディーが次々と出てくる、予告編のような曲です。さて、闘牛士はどんな人物として描かれているのでしょうか?

●チャイコフスキー(1840～1893)作曲 弦楽セレナーデ ハ長調より 第1楽章(約9分)

ロシアの作曲家チャイコフスキーの作品は、ロマンティックなメロディーと豪華なオーケストレーションで人気があります。1880年に作曲された「弦楽セレナーデ」は、弦楽器だけで合奏するための作品です。管楽器や打楽器が入らなくても響きがとても豊かで、チャイコフスキーらしい胸が締め付けられるような切なさや深い情感に溢れています。じっくりと耳を傾けてみてください。

プロフィール



しき おおた げん
指揮とおはなし/太田 弦

Gen OHTA, conductor

ねんさつぽろしう ちい まな
1994年札幌市生まれ。小さいころからチェロとピアノを学び、さつぽろこうきょうがくだん き そだ とうきょうけいじゅつだいがく しゅせき
札幌交響楽団を聴いて育ちました。東京藝術大学を首席でそつぎょうどうだいがくいん しゅうしかてい しゅうりょう ねん とうきょう
卒業、同大学院の修士課程を修了しています。2015年に東京こくさいおんがく しき いじゅうしやう ちょうしゅう
国際音楽コンクール(指揮)で2位受賞、あわせて聴衆からのしじ あつ ちょうしゅうしやうかがや ぜんこく しき
支持を集め聴衆賞に輝きました。全国のオーケストラを指揮

げんざい せんだいい かんげんがくだん しきしや きゅうしゅうこうきょうがくだん しゅせきしき
していて、現在は仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者、九州交響楽団では首席指揮
しゃ つと ねん さいとうひでお ききんしやう しきぶもん れきだいさいねんしやう じゅしやう
者を務めます。2025年に齋藤秀雄メモリアル基金賞(指揮部門)を歴代最年少で受賞。
かつやく きたい わかて しきしや
これからさらに活躍を期待されている若手指揮者です。



※スマートフォン、携帯電話、アラームなどは音が出ないよう電源をお切りください
※許可なく録音、録画、写真撮影を行うことは禁止しております

●ヨハン・シュトラウス2世(1825～1899)作曲 ポルカ「雷鳴と稲妻」(約3分)

「雷鳴と稲妻」は、音楽の都ウィーンの作曲家ヨハン・シュトラウス2世が作曲したたくさ
んのポルカの中でも、特に有名な作品です。題名のとおり、空を一瞬のうちに切り裂く
いなずま ちへい かみなり えが おんがく かみなり お おと あ くる
「稲妻」と地平にとどろく「雷」を描いた音楽で、雷が落ちる音はティンパニが、荒れ狂う
あらし げんがつき ひょうげん こわ とつぜん らいう はし だ
嵐は弦楽器が表現します。タイトルは怖そうですが、突然の雷雨にあわてて走り出した
いきお けいかい きよく
ような勢いがあるって愉快な曲です。

●ヨハン&ヨゼフ・シュトラウス(1827～1870)作曲 「ピツィカート・ポルカ」(約3分)

この曲は、ヨハン・シュトラウス2世とその弟ヨゼフ・シュトラウスによる合作です。弟のヨ
ゼフはとても忙しい兄ヨハンに代わってオーケストラを指揮し作曲もしています。2人が
きょうどう つく さくひん めずら けいかい おど ねいろ げんがつき げん ゆび
共同で作った作品は珍しいようです。軽快に踊るような音色は、弦楽器で弦を指ではじ
いて音を出す奏法=「ピツィカート」によるものです。

●シベリウス(1865～1957)作曲 交響詩「フィンランディア」(約8分)

フィンランドの作曲家シベリウスの作品の中でもっとも有名なこの曲は、1899年に作曲
されました。フィンランドはロシアの隣にある国で、当時はロシアに支配され苦しんでい
ました。民衆による独立運動を盛り立てようとシベリウスが作曲したのが「フィンラン
ディア」です。曲の途中にとっても美しいメロディーが聴こえてきます。このメロディーには
フィンランドを讃える歌詞がつけられ、第2の国歌として現在でも親しまれています。

かんげんがく さつぽろこうきょうがくだん
管弦楽/札幌交響楽団
Sapporo Symphony Orchestra



さつぽろ ほっかいどう
札幌・北海道のみなさんの

まち
「わが街にオーケストラを」と

こえ う ねん たんじやう さつきやう あいしやう し がくだん
いう声を受けて1961年に誕生し、「札幌」の愛称で知られています。楽団メンバーとして
かん げん だ しゅるいじやう がつき そうしや めい ねんかん かい かいすう えんそうかい
管・弦・打の15種類以上の楽器の奏者72名がいて、年間110回をこえる回数の演奏会を
ほっかいどうぜんいき おこな しやうにんずう がっこう ふくししせつ ほうもん はばひろ
北海道全域で行っています。また、少人数で学校や福祉施設を訪問し、幅広いみなさまへ
おんがく とど
音楽をお届けしています。

かつどう ようす しやうかい エスエヌエス
☆活動の様子やメンバーの紹介をホームページやSNS、 公式ホームページ
ユーチューブ はっしん https://www.sso.or.jp
YouTubeで発信しているのでチェックしてみてください。

